

知事との県民対話集会（大町市）概要

- ・開催日時 令和4年12月10日（土） 午後2時30分から午後4時まで
 - ・会場 大町市役所 東大会議室
 - ・参加者 県民34名、牛越大町市長、阿部知事、早川北アルプス地域振興局長
 - ・テーマ ・持続可能なまちづくり ・アフターコロナを見据えた観光振興
- ・主な発言（要旨）

【参加者】

・一般社団法人を立ち上げ「小さな拠点」に取り組んでいる。旧村部では、高齢者の送迎や荒廃農地・害獣対策などやらなければならない事業は多いが、財源的、人的な面で課題がある。

・高知県では県が担当部署を置き、市町村と連携して動く体制をとっている。長野県でもそのような支援体制をとってほしい。また、持続的に運営できるような支援を一緒に考えてほしい。

【知事】

・県、市町村、住民がどういう関係性でやっていけばよいか一緒に考えたい。地域住民がどうしたいかを共有してもらい、地域振興局の職員が窓口となってつなげてほしい。

・県として「小さな拠点」の位置づけをどうするかはしっかりと考えたい。

【参加者】

・里山での子育ては快適だが、出産、通学、保育などの面で不安もある。このような不安があると、ライフステージの節目で市街地への転居を検討しなければならなくなるし、移住を推進しても里山には入ってこない。

・里山が存続できるよう、移住定住の取組と両輪で、子育てインフラの支援を推進してほしい。

【知事】

・女性や若者から選ばれる県づくりは、新しい総合計画の柱に位置付け、力を入れていく。保育の支援の充実、小中学校の教員配置は県として考えないといけない。山村留学の振興にも力を入れていきたい。子育て支援や子ども支援はどこにフォーカスすればいいか、保護者や地域の皆さんと話し合いながら考えたい。

・都会とは違った価値観で、長野県の中山間地域、農山村を日本の中で進んだ地域にしたい。問題意識を共有し、市町村がそういう地域づくりができるように県として取り組みたい。

【参加者】

・スーパー、コンビニ、ネット販売の進出や、学校の教科書、図書館での取扱いの減少があり、このままでは地域の本屋がなくなってしまう。

【知事】

・知のインフラとしての書店をどうするかは重要な課題だと思うが、税金で補てんするという話にはならない。もっとお客さんに来てもらう方法や、複合的な場所としてどう活かしていくかなどを考えてほしい。そういう工夫をして、地域の皆さんと一緒に支えていく形になるとよい。

【参加者】

・松本糸魚川連絡道路（以下「松糸道路」という。）の説明会が開催されているが、安曇野市と比べると市民とのコミュニケーションが希薄で、細いルート帯案は市民の声が反映されていない。もっと県と市民双方向のコミュニケーションをとり、市民の声を取り入れてほしい。

【知事】

・コミュニケーションの取り方は改善しているようだが、今の状況をもう一度把握する。

【参加者】

- ・松糸道路の説明を聞きVR動画を見て、大きな影響が出る計画だと感じた。多くの方に動画を見ていただけよう自分たちの手で広げたいという要望に応じてもらえなかった。
- ・大町市民から見直しの意思が示されたとき、大町市区間だけでも見直される可能性があるのか、その判断をする意思決定者は誰なのか知りたい。

【知事】

- ・最終的には県で決定する。このような事業はいろいろな見地からの意見がある。整備の考え方を説明し、いただいたご意見にはしっかり打ち返しをしながら進めていきたい。

【参加者】

- ・持続可能なまちづくりは、古いものや自然を残す・活かすことだと理解しており、松糸道路の大町区間は必要ないと思っている。現道はきれいにしてほしい。
- ・高速交通のためではなく、安全に子どもが楽しめる道、みんなが歩ける道づくりもある。世界ではそういうトレイルを求めて観光客が来る。

【参加者】

- ・松糸道路は大賛成の者もいっぱいいる。賛成の者にも意見を言わせてほしい。

【知事】

- ・徒歩や自転車で楽しめる道がある地域づくりの考えには大いに共感する。時代の転換期であり、これからの高速交通体系をどうしていくかはしっかりと考えていく必要がある。
- ・大町市民としてどういうまちにしたいのか、ということにできるだけ即して対応していきたい。
- ・賛成も反対もいてよい。民主的なプロセスの中で考えていかないといけない。

【参加者】

- ・大町市観光協会では、観光資源の磨き上げや着地型商品の造成、販売に取り組み、関係機関、団体等が一体となって学習旅行の誘致を展開していくこととしている。
- ・アフターコロナにおける学習旅行の誘致に、県も協力、支援をお願いしたい。

【知事】

- ・コロナ後の観光は重要な課題。教育旅行についても力を入れていきたい。
- ・観光全体としては、滞在型、体験型の観光にしてリピーターを増やしていきたい。
- ・海外からの受け入れもしっかりやっていきたいし、沖縄の子どもたちとの交流も広げていきたい。

【参加者】

- ・ソーラー発電設備が田園風景や里山の中に増えている。山岳景観、里山の雰囲気壊されていくのが悲しく、誘客への影響も心配。松糸道路も田園の真ん中を通るのが反対の理由になっていると思う。
- ・素晴らしい景観を守り、観光資源として活用してほしい。安曇野から白馬まで、一体としてお客さんを迎えるような観光コンテンツを開発していけるとよい。力になりたい。

【知事】

- ・ソーラー発電設備については、日本では所有権がかなり強く、規制をかけるのは難しい状況だが、一定程度のルール作りが必要であり、県としては条例制定の検討を始めている。
- ・地域一体の観光については、大町、白馬、小谷はハクババレーツーリズムというDMOがあり、重点支援してきている。皆さんにも一体で考えていただければ、我々も対応していく。

【参加者】

- ・コロナ以降、観光客が半減し厳しい状況が続いていたが、少しずつ回復してきている。来年は黒部ダムが完成後60周年を迎え、その翌年は北陸新幹線延伸、黒部ルート一般開放が予定されており、非常に期待している。これを機にさらなる誘客に向けた取組への支援をお願いしたい。
- ・コロナの状況が変わってきているため、「信州の安心なお店」の条件を見直してほしい。業種別に内容が違ってよい。多くの旅館では宿泊定員数の半分ほどしかお客さんを入れられないため、営業しやすいよう見直しをお願いしたい。

【知事】

- ・全国旅行支援は来年度も継続する方向。観光誘客はこれからも積極的にやっていく。
- ・「信州の安心なお店」は、国の業種別ガイドラインも見直しを検討されているが、状況が変わる中で過度なものもあると思う。見直しの検討をしたい。

【参加者】

- ・盛土構造の松糸道路が北アルプスの裾野を通るのは景観を阻害する。アフターコロナを見据えた観光振興や移住促進にも反するものとする。盛土構造の道路については再考してほしい。
- ・松糸道路について、木崎湖トンネルから中綱湖までの国道148号は住宅地の中を通過しており、振動、騒音、建物への影響、生活のための道路横断のしにくさ、迂回路がなく事故・災害時の影響が大きいなど、現在も課題が多い。この範囲は現道活用区間とされているが、現状よりスピードを増した車が流入することになる。松糸道路全体の中で大きな欠陥とならないか。この区間を優先して検討し、住民が安心できるようにしてほしい。

【知事】

- ・松糸道路は、住民の皆さんのコンセンサスを得ながらどう進めるか、皆さんがどう思っているのか把握しながら考えないといけない。建設部とも今日の話と共有して考えたい。

【参加者】

- ・遠くから人を呼ぶ観光に集中すると、市民が全く利用しないことになりがち。道の良さではなく、その場所の良さで観光目的地を決めると思う。
- ・国道に隣接する歩道整備ももったいない。歩行者や自転車に乗る人の視点で、小さい範囲の動きをイメージすると市民も恩恵を受けやすいと思う。
- ・未来に向けて、若者や子どもたちの意見を吸い上げられるとよい。

【知事】

- ・人を迎えるだけの観光地では、地域の人にとってプラスにならない。地域の人が暮らして楽しいところに人が惹きつけられると思う。
- ・道路とセットではない歩道という発想はよいと思うが、補助金の要件など制約があり、単に予算を付け替えればよいとはならない。国にはもっと分権してほしいと思っている。

【参加者】

- ・松本空港に外国人観光客がダイレクトインできれば、観光誘客拡大となり、大きな経済効果が確実に感じる。課題は多いと思うが、松本空港の国際化の実現に向けた具体的な取組をお願いしたい。

【知事】

- ・国際化や就航路線の拡大に向けて取り組み始めた矢先でコロナ禍になり、足踏み状態となっていた。取組を再スタートさせ、まずは国際チャーター便を増やすところから始めたい。
- ・道路と同様、松本空港は周辺の皆さんの理解があって成り立っている。便数を増やせば騒音が頻繁になり、拡張すると高さ制限がかかる建物が増えるなど、いろいろな課題がある。松本空港は標高が高く制約が多いが、県民共通の財産として活かしていきたい。

【参加者】

- ・中条のトンネル（白馬長野有料道路）の無料開放の繰り上げをお願いしたい。観光振興、地域振興、過疎化対策になると思う。
- ・大北地域には新幹線、高速道路がない。ぜひ松系道路の整備を前向きに進めてほしい。

【知事】

- ・有料道路の無料化は、内部的には何度か検討しているが、国の認可で有料道路としている。問題意識は共有して努力していきたい。
- ・松系道路は、全体的にコミュニケーションをしっかりとりながら進めていきたい。

【知事】

- ・小さな拠点をはじめとして地域振興にもっと県がコミットしてほしいという話は、子育て支援の話も含め、大きな枠組みの中で受け止めたい。個別の地域の支援のあり方は別途検討させていただきたい。
- ・松系道路は、いろいろな角度から問題提起いただいた。地域の皆さんの声を伺いながら、地域の願いがどうすれば叶うのかという観点で考えていきたい。
- ・女性や若者は遠慮しがちで、意見を出せる場づくりを考えていかなければいけないし、地域の皆さんにも女性や若者に発言させてほしい。
- ・観光については、短期的にはコロナの厳しい局面を乗り越えられるよう取り組んでいきたい。中長期的な観点では、地域の皆さんも楽しめるという観点も含めて取り組んでいきたい。